

ずしし環境会議 ニュース

第6号

2003年10月

発行 ずしし環境会議（エコリーダーズ会議）

事務局 逗子市環境部環境管理課
逗子市逗子5-2-16
TEL 046-873-1111 内線256

●●●●● 私たちの活動をより多くの人々に知っていただくために ●●●●●

6月の環境月間において、ずしし環境会議（エコリーダーズ会議）の活動を皆様にご覧いただくために「環境パネル展」を開催しました。今年で3回目の開催を迎え、内容も規模もより充実したものとなりました。

展示の様子

3回目となる今回の展示には、6月16日から20日の5日間で約600名もの来場者がありました。特に今回は逗子開成中学校・高等学校の生徒の皆さんが参加し、「田越川の水質調査」「鉄道と環境問題について」など日頃の研究成果を発表していただきました。



生徒の皆さんによる内容説明

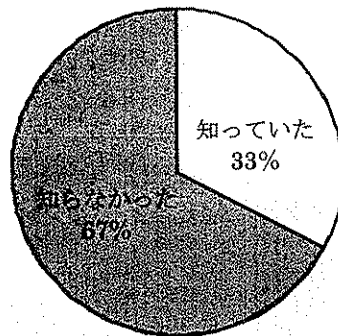
また、逗子小学校の皆さんが先生とともに見学に訪れ、熱心に説明員に質問したり、ノートに書きとめたりしていました。

そのほか今回の展示には、(社)建築研究所の参加や近隣のNPO、ボランティア団体の方々も見学を訪れ、ずしし環境会議のメンバーと交流を深めました。今後さらに様々な団体や学校関係と交流を深め、お互いの協力関係を築いていきたいと思っております。

来場者アンケート

前回に引き続き、今回も来場者を対象にアンケート調査を行いました。その中でずしし環境会議に対する知名度の項目では以下のような結果が得られました。

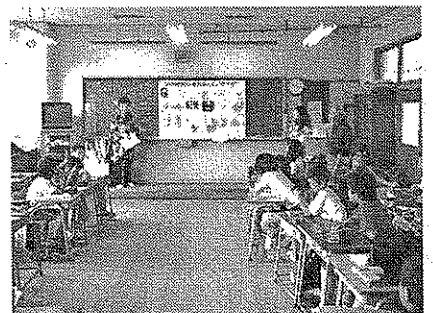
Q. ずしし環境会議（エコリーダーズ会議）をご存知でしたか？



「知っていた」と「知らなかった」の割合は、約3対7で活動規模が大きくなったとはいえ、まだまだ皆様に知られていないようです。なお、「知っていた」のうち、「イベント」や「ニュース」「広報」でずしし環境会議を知った方がほとんどでした。今後はこれらの活動はもちろん、その他のあらゆる機会において、皆様に理解していただけるような活動を展開していきたいと思っております。

今後へ向けて

今回のパネル展終了後、逗子小学校から「ぜひ学校でも環境授業を行ってほしい」との依頼があり、ごみ問題部会のメンバーが「出前講座」を行ってきました。



ごみ問題についての出前授業

環境問題についてより身近なものとして捉えていくためには、学校における環境教育が不可欠です。

ずしし環境会議では今後、小・中学校を対象とした「環境講座」のメニューを作成する予定です。

..... 入会申込み・お問合せ

ずしし環境会議は、私たちと一緒に活動に参加して下さる方を募集しています。入会申込み・お問合せは下記までご連絡下さい。

—事務局—

環境部環境管理課

TEL 046-873-1111 内線256

★★★★★★ 市民まつりに参加します★★★★★★

今年度も市民まつりにおいて、ずしし環境会議（エコリーダーズ会議）の展示を行います。ただ見るだけでなく、実際に触れたり、試したりする“体験型”の展示で皆様に楽しみながら環境について知っていただけたらと思います。ご来場お待ちしております。

日時 10月19日（日）10:00~16:00 場所 第一運動公園 ※小雨決行

内容 川の生きもの展示、スーパーの裸売りの現状、家電製品の消費電力測定など



まちなみと緑の創造部会

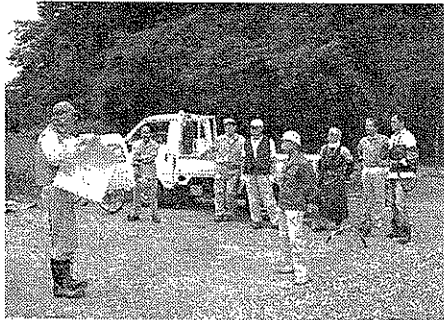
当部会は、「逗子のまちなみと緑を次世代にどのように伝えるか」をテーマとして活動を続けています。逗子の現状認識を共有するために、実際の場所を見て歩き、そこで発見したテーマや課題について意見交換をしながら、環境の改善に向けて必要と思われる調査・観察・提言や講演会の開催などを行っています。今年度は下記の「名越谷戸エコアップ」を重点課題としていますが、その他にも「大崎の磯の景観保全」や「東郷橋通りと旧浦賀道のまちなみ形成」「ハイキングコースの見直し」「環境マップ作成」等にも取り組んでいます。

なごえやと 名越谷戸(名越緑地)エコアップ作業

****現在進行中の様子をお伝えします****

幸いにして未整備のまま残され、そのために多くの種類の生き物が生息しているこの名越谷戸は、逗子市の宝物のような存在です。

昆虫が好きな人は「昆虫園」、鳥が好きな人は「野鳥観察園」、植物が好きな人は「植物園」というように、また特別の目的をもたない人でも「くつろぎの里」として懐かしい自然に接することのできるような緑地にしたいと思います。これらの場合は、個々に区切って使うのではなく、利用する人々が楽しむのにふさわしい場所を自分で発見して、この谷戸の自然の中に入り込めるようにしたい。そんな環境を整えたいと思います。



作業前の綿密な打ち合わせ

大がかりな事業費を費やして、人工的に自然環境を再現するのではなく、自然の復元力を活用して、現在ある自然をうまく誘導して、生き物達が生活しやすい環境を整えます。そうすることで、生き物の種類も数も増えて、もっと豊かな自然ができあがるでしょう。

ミミスだって♪オケラだって♪

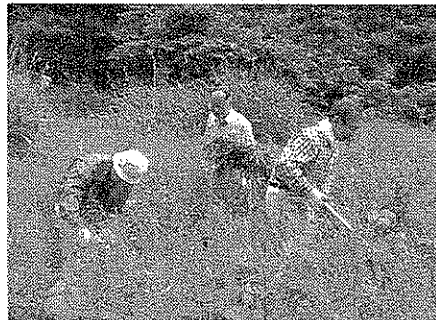
アメンボだって♪

みんなみんな生きているんだ♪

ともだちなんだ♪

という童謡の世界を子供達はもちろん、ここを訪れる皆さんに実感してもらいたいのです。

多くの方の参加で、時間をかけて築きあげたいと思います。



水路周辺の草刈り、開放水面作り

◇取り組み姿勢◇

ゴミの除去、竹やササの伐採を進めながら、どこにどんな生き物がいて、どんな状態で自然を利用しているかの調査を、慎重にゆっくりと進めています。

刈り取り方法もウグイスの営巣に配慮してササを刈り、昆虫の産卵や育成を考えて工夫しています。すぐに目に見える成果を目指すのではなく、やり過ぎないことを念頭に、彼らの世界に接していきます。

◇平成15年度の活動◇

風通しを良くし、適度な日照を確保するために、ゴミ除去、枝払い、竹・ササ刈り、セイタカアワダチソウやセリの間引きをしています。また、水生動植物を豊かにすることを目指して、アシ・ガマの整理による多様な水面・水路作りや、土砂の流出防止を図っています。

◇自然環境の先生募集中◇

この活動を指導・支援して下さる方を募集しています。詳細は事務局まで

- ・動物や植物に詳しい人
- ・田んぼ、畑作りに詳しい人
- ・里山管理、炭焼きに詳しい人



昔はよく見られたジャコウアゲハを発見

第1回 エコアップ作業 5月24日(土) 晴

湿地のセイタカアワダチソウを手で抜いて除去。ジャヤナギの水路付近の草を刈り、開放水面を作る。さっそく、カワトンボがやってきた。キショウブの花が目立っている。

第2回 エコアップ作業 6月22日(日) 晴

進出するササや竹を刈る。竹切ノコギリが切れ味抜群で気持ちいい。井戸近くの水路付近の草を刈り、開放水面を作る。カワニナの繁殖、来年のホタルも楽しみだ。

第3回 エコアップ作業 7月19日(土) 晴

ジャヤナギの湿地の水路付近の草を刈り、開放水面を作る。水路のえぐれた所に土嚢を積む。セリの白い花が愛らしい。

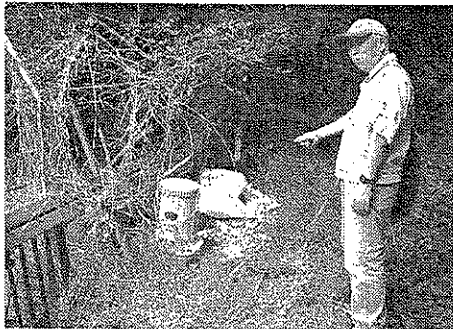
6月の作業で作った開放水面で、オニヤンマの産卵が見られた。草を刈った井戸付近で、ヤブランやヤブミョウガが多数花をつけていた。

ごみ問題部会

今年度の当部会の前期活動は、「裸売り実態調査」、「不法投棄ウォッチング」、「マイバッグキャンペーン」、「ごみの減量に向けての種々の取り組み」、「行動等指針（逗子市ローカルアジェンダ 21）の見直し」などが中心でした。その結果については6月環境月間中に市民ホールで実施したパネル展で発表しました。以下その内容について報告いたします。また、うれしいことに、このパネル展をご覧下さった方のうち、男性・女性各1名づつと、後日に女性1名の合わせて3名の増員を得て部会員一同大変喜んでおります。

不法投棄ウォッチング

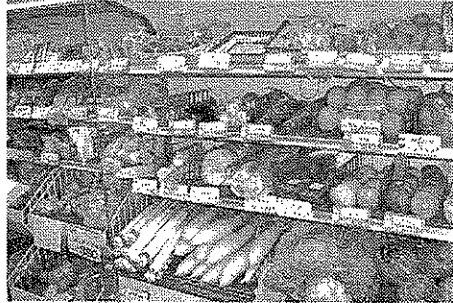
4月19日と5月11日の2日間にわたって、市内全域の不法投棄ウォッチングを行い、不法投棄地図を作りました。特に多かったのは神武寺のトンネル手前、クリーンセンター下、グリーンヒル奥のつばき公園脇、アーデンブリッジ手前逗葉新道に入る道の脇、久木共同グラウンドの端などでした。ストーブなどの家電製品や家具など、明らかに意識的に投棄したと思われるものが、草の中にいくつもあり、眉をひそめさせられました。住みよい街、環境の良い街を維持するために、不法投棄をしない、させない市民でありたいです。



裸売り実態調査

ごみ減量の観点から、包装容器を減らしたいと思い、「容器包装実態調査」を3~4月に行いました。対象は、市内のスーパーマーケットと生協の7店です。

その結果は、野菜・果物33品目中「裸売り（包装されないでむきだしで売っている）商品」は7店平均で46.8%でしたが、店によって品目数に大分違いがありました。裸売り可能な商品はどの店でも裸売りするよう、今後要請していく運動を展開していこうと思います。市民の皆さんも、持ち帰ればすぐごみになるような過剰包装は避け、極力「裸売り商品」を選ぶ、環境に配慮した、賢い消費者になって下さい。



マイバッグキャンペーン

「買い物には袋を持参しよう！マイバッグキャンペーン」をごみ減量対策の一つとして展開しております。今回は「マイバッグを作って、使おう」をテーマに軽い、丈夫、コンパクトになる、の3条件を満たし、その上不要になった傘布を利用した製作実演を行いました。多くの市民から絶賛され、製作依頼があり、パネル展終了後まで仕事をもち帰る事になりました。壊れた傘をごみにせず、しかもレジ袋も減らせる、ごみ減量にとって二重の効果です。



環境授業

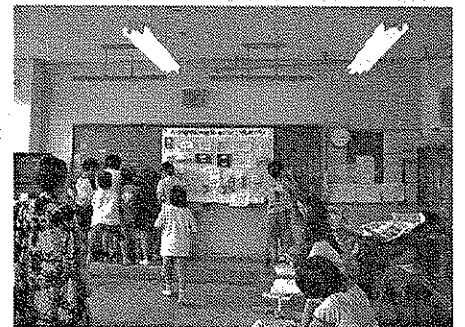
パネル展の産物として、当日見学いらっしやった逗子小学校の先生と生徒さんから、「包装容器の値段」の掲示物を校内でも展示したいとの申し出があり、同時に「環境授業」の依頼がありました。環境問題はなるべく小さいうちから指導して、実践することを習慣化していくべきだと考えておりますので、早速

時間をいただいて授業をさせていただきました。

対象は1・2年生全員と4年生一クラスで、7月15・16日の両日にわたって行いました。皆さんが、授業を熱心に聞いて、積極的に参加してくださり、感動いたしました。

1・2年生にはごみ減量の方法として「6R」の話。つまり Refuse（包装のための袋や紙などは断る）Reduce（買う量、使う量を最小限度に減らす）Reuse（繰り返し使う）Repair（修理して使う）Reform（作り直して使う）Recycle（再生資源として再利用する）を中心に話しました。4年生にはごみは何からできているか？について話しました。

いろいろなごみを、資源として分類し、資源の枯渇の問題について考えました。次の世代を担う子どもたちに、私たち大人の贅沢のツケを合わせることにありますが、持続可能な地球環境を指向するには老若みんな実践しなくてはならないことです。これからも、機会が得られれば行っていきたくと思います。



今後の活動

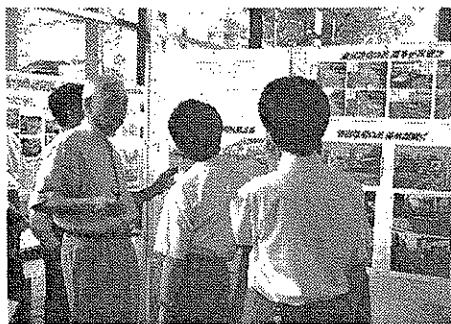
- ①裸売り実態調査に基づく、裸売りの推進
 - ②家庭版 ISO 実施への協力
 - ③市民まつりへ参加して啓発活動
- などを重点的に行っていきたくと思います。

二酸化炭素削減部会

4年前に逗子市環境基本計画が策定されたのを受け、3年前に市民・事業者・市の三者それぞれの具体的取り組みについて「行動等指針」としてまとめました。以来、その後の3年間の実施経過・達成状況を踏まえ、更に加えるべき条項等を含め、現在見直しを行っています。そこで、私たち二酸化炭素削減部会のメンバーは自分達が取り組める身近な問題の一つ一つを取り上げて活動しています。今後は更に新たなテーマも加え、より多くの市民の方々にも関心を深め参加して下さることを願い、問題解決のための活動を展開していくつもりです。

環境パネル展に逗子開成中学校・高等学校が初参加しました

6月の環境月間中に市役所1階市民ホールで開催した「環境パネル展」において、初めて逗子開成中学校・高等学校の生徒の皆さんが参加し、環境に関する日頃の研究成果を発表し、指導の先生お二人と共に来場していただきました。



生徒達と環境問題について語り合う

生徒の皆さんの環境への取り組みについて、多くの参加者から感想と期待が寄せられ、アンケートの中で「視覚に訴えることでよく理解できた」「大変な努力に頭が下がった」「今後ともこの気持ちを忘れずに頑張っていたきたい」とのご意見や多くの励ましの言葉をいただきました。



電化製品の消費電力測定

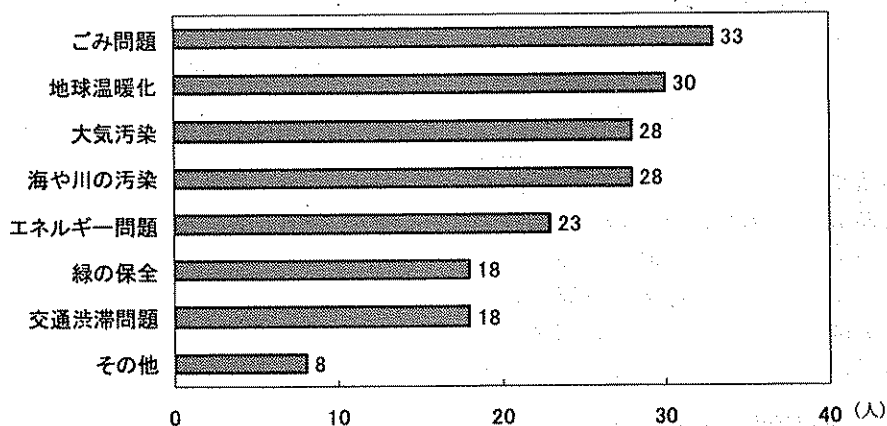
編集後記

- ★ずしし環境会議は発足して2年半が経ちました。私たちは身近な事柄や些細なこと、成果の上がる事から取り組んでいます。
- ★ずしし環境会議ニュース第6号は、6月の環境パネル展の報告を中心にご紹介いたしました。ご感想はいかがですか。
- ★市民まつりへの参加、環境についての講演会等の開催を予定しております。私たちの活動へのご参加をお待ちしております。

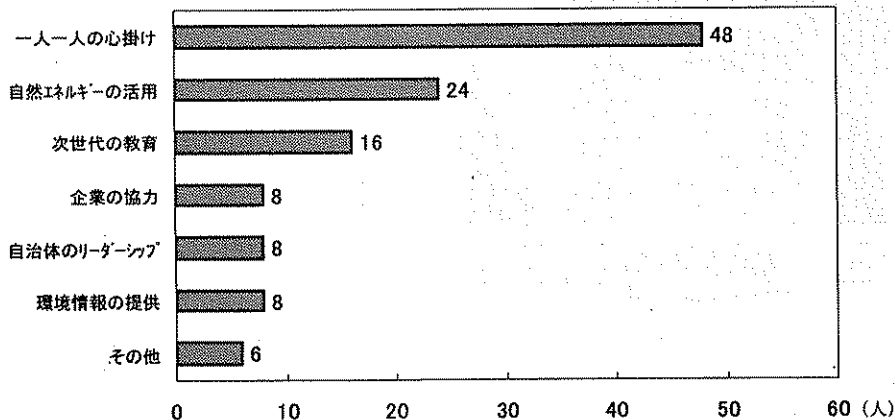
編集委員 谷 守弘・齋藤 稔・相澤 市郎

二酸化炭素削減部会アンケート結果

①環境問題であなたが関心のあるのは次のどれですか。



②環境を改善するために、今後重要だと思うことは次のどれですか。



今後の部会の取り組み

10代の若い人たちの環境への意識啓発の一環として、公立小・中学校をはじめ、私立小・中学校にも参加していただき、学校版環境 ISO14001 の実践等を通じて、省エネルギーに対する意識の普及啓発に取り組みたいと考えています。